

●一般演題

当院のデバイスチェック未実施患者における取り組み

戸田中央総合病院臨床工学科 高橋 良輔・石田 雄作・向笠 良宏
齊藤 圭哉・野尻 克人・島田 宇通
齐藤 賢和・菅谷 大輔・内野 敬
荒川 靜司

戸田中央総合病院心臓血管センター内科 湯原 幹夫・竹中 創・内山 隆史

はじめに

当院では、外来における点検を年間696回施行している。フォローアップ患者数は400名 (ICD 40名, CRT-P 10名, CRT-D 34名, PM 316名)であり、そのなかには定期的に外来を受診しない患者もいるのが現状である。外来受診間隔はPM患者で1~12カ月、その他デバイス患者で1~6カ月としている(植え込み後初回1カ月、3カ月、6カ月と期間を延ばしていく)。今回定期的に外来を受診しない患者に対して来院を促す手紙を送付する取り組みを行ったので報告する。

1 目的

フォローアップ未実施患者に対してお知ら

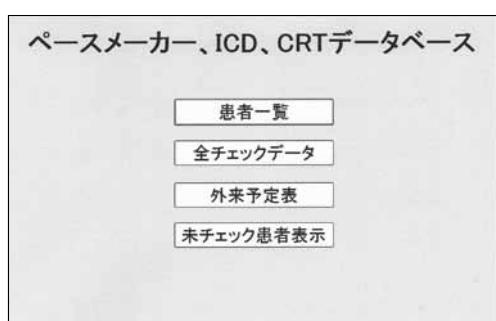


図1 当院データベース画面

せの手紙を送付し、その理由について検討する。

2 方 法

患者情報を当院データベース(図1)より抽出し、外来予定日を過ぎている患者をピックアップした。そのなかで死亡や転院などフォローアップが終了している患者を削除してリストを作成し、当院に連絡をしていただくように案内をした手紙を送付した(図2)。連絡のない患者には再度送付を行い、3回手紙を送付して返答のなかった患者12名に関しては以後送付せず今回の検討からは除外した。

3 結 果

2011年から半年ごとに計10回の手紙送付を行った。フォローアップ中の患者400名のうち外来予定日を過ぎていた患者数は合計84名で全体の20.1%になった。84名のうち、死亡19名、転院11名、転帰不明20名、受診忘れ34名であった(図3)。

4 考 察

手紙を送付したことで受診を忘れていた患者に適切なフォローアップを行うことができた。すでに死亡していた患者の家族からは厳しい言葉をかけられてしまうこともあった。患者

～ベースメーカー外来のご案内～

○○様いかがお過ごしでしょうか

さて、当院で治療を行ったベースメーカーの件ですが、しばらくの間ベースメーカーの点検・調整にいらしてないようですので不具合等がないか心配しております。

お忙しいことは存じますが、一度来院していただき点検を受けていただけたらと思います。

ベースメーカーの外来は毎週火曜日の 14:00 からおこなっております。しかしながら予約制となっておりますので、ご来院の際には電話での予約をお願いいたします。

受診時はベースメーカー手帳、診察券、及び保険証をご持参ください。
受診の予約・ご不明な点は下記連絡先へお問い合わせください。
なおこのお知らせが入れ違いで届いていましたらお詫びを申しあげます。

よろしくお願ひいたします。

心臓血管センター内科 センター長 内山 隆史
臨床工学科

○○様の前回の点検・調整日： ○○年○○月○○日
前回予約の日付： ○○年○○月○○日

予約受付連絡先
戸田中央総合病院
TEL 048-442-1111 内線（2569）
臨床工学科宛

図2 患者案内用の手紙

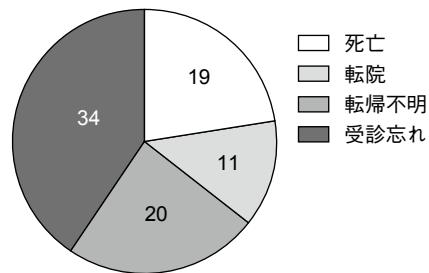


図3 外来予定を過ぎていた患者84名の理由内訳

情報を適正に収集し、外来業務に活かすことが重要であると考える。また、病院とデバイス植え込み患者を繋ぎ適切な時期にフォローアップを行うことが大切であり、その役割を担うのはわれわれ臨床工学技士であるべきであると考える。

5 今後の展望

植え込みから退院、その後の外来フォローアップまで積極的に患者と関わりを持ち、デバイス植え込み患者の日常における不安や疑問を解消できる存在となることを目指していく。

(Therapeutic Research vol. 37 no. 5 2016. p.470-1に掲載)